

英語授業改革セミナー ワークショップD(中学校分科会)



「小中接続を意識した授業実践を考える」

令和5年8月2日(水)

明海大学 教職課程センター副センター長
教授 石鍋 浩

江東区立辰巳中学校主幹教諭 大木田陽子

足立区立第五中学校教諭 池田 義友

学習指導要領

- 学習指導要領では、小学校段階において育むべき資質・能力を、三つの柱に沿って、教育課程全体及び教科等ごとに明確化し、中学校以後の学びに円滑に接続させることが求められています。

中学校学習指導要領解説外国語編 ～外国語科改訂の趣旨と要点～ 【今までの成果】

平成 20 年改訂の学習指導要領は、小・中・高等学校で一貫した外国語教育を実施することにより、外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度や、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする力を身に付けさせることを目標として掲げ、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」などを総合的に育成することをねらいとして改訂され、**様々な取組を通じて指導の充実が図られてきた。**

中学校学習指導要領解説外国語編 ～外国語科改訂の趣旨と要点～ 【今までの成果】

中学校においては、小学校における外国語活動の成果として、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成され、「聞くこと」及び「話すこと」の活動を行うことに慣れているといった変容が生徒に見られること等も踏まえ、授業における**教師の英語使用**や**生徒の英語による言語活動の割合**などが改善されてきている。

中学校学習指導要領解説外国語編 ～外国語科改訂の趣旨と要点～ 【今までの課題】

学年が上がるにつれて児童生徒の学習意欲に課題が生じるといった状況や、**学校種間の接続が十分とは言えず**、進級や進学をした後に、それまでの学習内容や指導方法等を発展的に生かすことができないといった状況も見られている。

中学校学習指導要領解説外国語編 ～外国語科改訂の趣旨と要点～ 【今までの課題】

授業では依然として、文法・語彙等の知識がどれだけ身に付いたかという点に重点が置かれ、外国語によるコミュニケーション能力の育成を意識した取組、特に「**話すこと**」及び「**書くこと**」などの言語活動が適切に行われていないことや「**やり取り**」・「**即興性**」を**意識した言語活動が十分ではないこと**、読んだことについて意見を述べ合うなど、**複数の領域を統合した言語活動が十分に行われていないこと**などの課題がある。

中学校学習指導要領解説外国語編 ～外国語科改訂の趣旨と要点～ 【今までの課題】

また、生徒の英語力の面では、習得した知識や経験を生かし、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて自分の考えや気持ちなどを適切に表現することなどに課題がある。

現状と課題

文科省直山木綿子視学官
～令和5年7月3日 日本教育新聞より～

【小学校の現状】

- 外国語教育の存在が小学校現場に定着
- 「特別感」がなくなり「当たり前」に
- 児童は外国語の授業で楽しく学んでいる

現状と課題

文科省直山木綿子視学官
～令和5年7月3日 日本教育新聞より～

【小学校の課題】

- 「言語活動を通して」の理解を深めること
 - 「相手意識」と「目的意識」を踏まえること
- ⇒「誰に、何のために」という要素が加わり、児童
一人一人のオリジナリティあふれる表現になる

現状と課題

文科省直山木綿子視学官
～令和5年7月3日 日本教育新聞より～

【英語での表現】

- 「言いたいこと」「思っていること」を英語で表現できない場面で求められているのは・・・
- 大切なのは・・・

現状と課題

文科省直山木綿子視学官
～令和5年7月3日 日本教育新聞より～

【課題】

- **小中の接続が不十分**
- 小学校の外国語の指導事項を踏まえ、中学校側の意識を高めることが必要

大木田先生の実践事例

- 中学校の先生が学区内の小学校へ行って授業をする「出前授業」の実践例です。
- 小学校の実態を知ることができることはもちろん中学校における授業改善のヒントがたくさん出てきます。

小学校との接続を 意識した授業実践

江東区立辰巳中学校

主幹教諭 大木田 陽子

目次

- 1 自己紹介
- 2 きっかけ
- 3 具体的な取組 & 成果
- 4 今後の課題



自己紹介

- 出身：福岡県北九州市
- 経歴：16年目（R5.4月時点）
 - ① A区 A中学校
 - ② B区 B中学校
 - ③ 江東区立辰巳中学校（5年目）

2 きっかけ

(1) 赴任初年度の学年状況

(2) 小学生への出前授業

(3) 「外国語活動」の開始 (導入)



(1) 赴任初年度の学年状況

- ・ 母体となる小学校が学級崩壊
- ・ 毎日放課後は、夜8時まで生活指導
- ・ 生徒たちの教員に対する不信感大



2 きっかけ

(1) 当時の学校状況

(2) 小学生への体験授業

(3) 「外国語活動」の開始 (導入)



(2) 小学生（6年）への体験授業

- 学級崩壊しているクラスを担当
- 大きな声で & 体を使って発音
- アルファベット
 - ①リズムや速さを変えて
 - ②大文字と小文字のカードマッチング



入学した後…

- 「楽しかった！」



- 「小学校でもやりたかった…」

- 「また、小学校に来てほしい。」

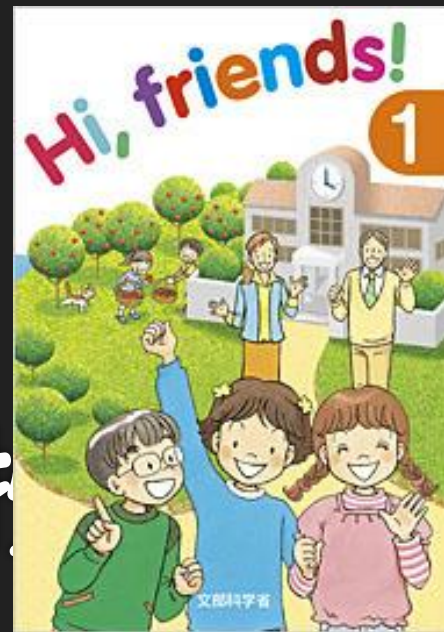


2 きっかけ

(1) 当時の学校状況

(2) 小学生への体験授業

(3) 「外国語活動」の開始 (導入)



Animal Paradise

Let's Play

アルファベットの小文字をさがそう。



a
b
c
d
e
f
g
h
i
j
k
l
m

n
o
p
q
r
s
t
u
v
w
x
y
z

Aa



Bb



Cc



Dd



Ee



Ff



Gg



Hh



Ii



Jj



Kk



Ll



Mm



Nn



Oo



Pp



Qq



Rr



Ss



Tt



Uu



Vv



Ww



Xx



Yy



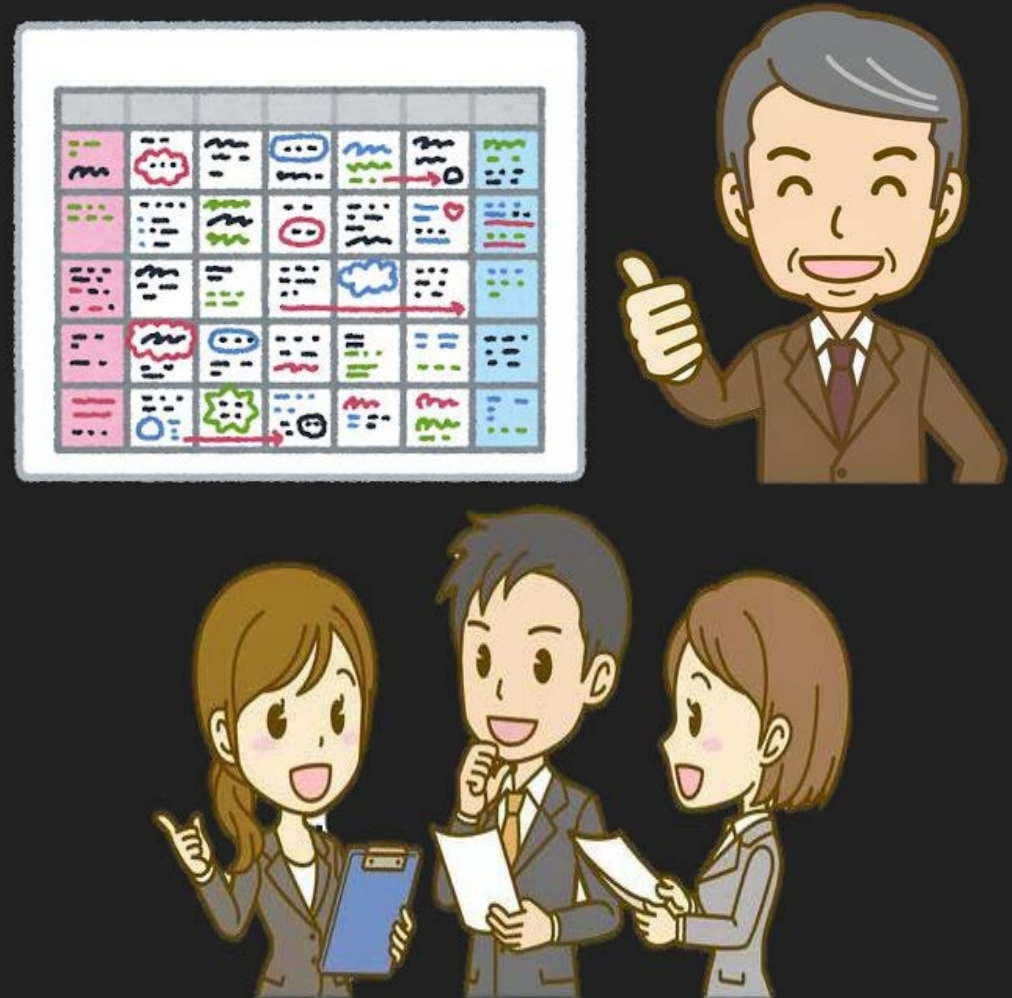
Zz



3 具体的な取組①

◆小学校への出前授業

- 日程調整
- 管理職や教務主任への報連相
- 他の英語科教員との情報共有
- 振り返り



3 具体的な取組②

◆小学校での授業内容把握

- ・教科書（単元内容等）や活用英語
- ・指導者の英語スキル
- ・指導者の困りごとチェック
- ・中学校との接続（どの学年で教えるか）

**小学校の
内容を
理解する**

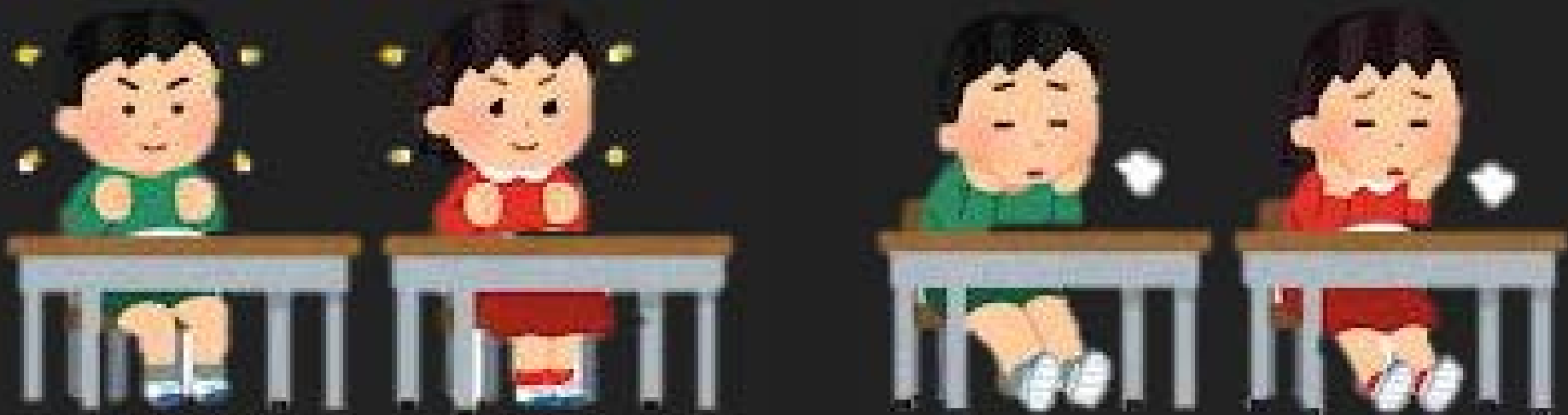


打ち合わせの内容

- (1) クラスの雰囲気や児童の様子や特徴
- (2) 単元目標に対しての指導計画（1単元分）
- (3) 担任の先生が苦手なこと
- (4) 配慮したこと

打ち合わせの内容

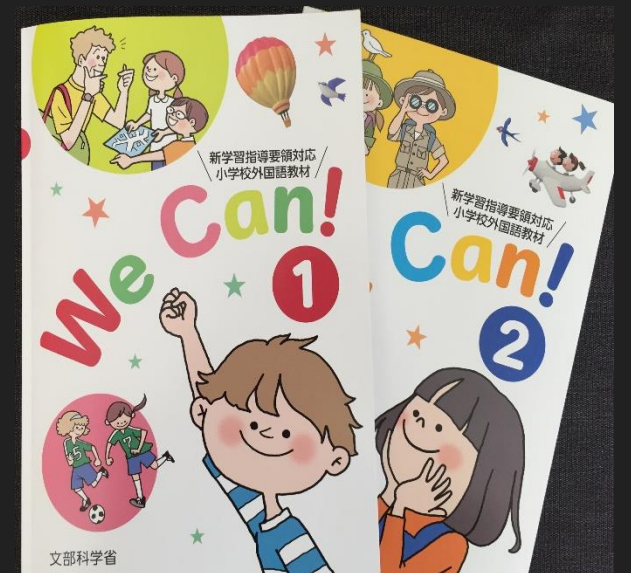
(1) クラスの雰囲気や児童の様子や特徴



打ち合わせの内容

(2) 単元目標に対しての指導計画 (1単元分)

- 定着させたい表現の確認
- 具体的な学習活動や方法
- 活動を入れ込みすぎない



打ち合わせの内容

(3) 担任の先生が苦手なこと

- 発音 → 英語を話すことを楽しむ
→ 正しい英文で言わなくてもいい
- 褒め言葉 → 最初は簡単なものから

(4) 配慮したこと ➡ 中学生にも有効!

- 表情を意識する（特に笑顔）
- 児童と目線を合わせる
- 必ず、名前をつける
- とにかく褒める（認める）





1

授業の始まり (STARTING CLASS)

1	おはようございます。	Good morning.
2	こんにちは。	Hello. / Good afternoon.
3	みなさん、こんにちは。	Hello, everyone.
4	英語の時間です。	It's time for English class.
5	元気ですか。 今日の調子はどうですか。	How are you? How are you today?
6	今日は何曜日ですか。 — 金曜日です。	What day is it today? — It's Friday.
7	今日は何月何日ですか。 — 4月25日です。	What's the date today? — It's April twenty-fifth.
8	今日の天気はどうですか。 — 晴れています。	How's the weather today? — It's sunny.
9	立ちなさい。	Stand up.
10	座りなさい。	Sit down.
11	席に戻りなさい。	Go back to your seat.
12	準備はいいですか。	Are you ready?
13	始めましょう。	Let's begin. / Shall we begin?
14	今日の目標です。	This is today's goal.
15	目標を一緒に読みましょう。	Let's read the goal together.
16	これが今日の授業内容です。	This is today's [lesson/class schedule/plan].



小学校
外国語活動
外国語研修
ガイドブック

クラスルーム・
イングリッシュ
実習編
P86~

成果①

- 入学式の日の名前を呼ぶ関係性
 - 安心感があり、不安が減る
 - 生活指導面でも有効
- 自分の授業改善にもつながる
 - 同じ教材を活用
 - 学習内容を復習することで定着しやすい傾向



成果②

- 小中で指示英語を統一
 - 中1ギャップ解消にもつながる
 - 入学当初の授業がスムーズに進行
- 語彙力などの向上
 - 誉め言葉や指示英語
 - リズムや抑揚



外国語専科との連携も！

4 今後の課題

- ・ 小学校での格差チェック → レベルや現状確認
- ・ 小学校への出前授業実施 → 英語以外の教科も
- ・ 文字指導 → ラッキーではなく、ありがたい！
これは中学校英語科教員の仕事！

最後に…

- できることから
- 一人でなく、誰かと一緒に
- お互いに助け合いながら





ご清聴ありがとうございます

ございました

令和4年度「英語教育実施状況調査」概要

調査の目的

平成29年3月に小学校及び中学校、平成30年3月に高等学校の学習指導要領が告示。また、平成30年6月に「第3期教育振興基本計画」が閣議決定。

こうした背景の中、英語教育改善のための具体的な施策の現状について調査し、今後の国の施策の検討に資するとともに、各教育委員会における英語教育の充実や改善に役立てるために実施。

調査の対象等

○調査対象

各都道府県・市区町村教育委員会及び全ての公立小学校、中学校、高等学校
(義務教育学校、中等教育学校を含む)

※調査学校数: 小学校: 18,702校、中学校: 9,208校

高等学校: 3,280校(合計4,015学科)

普通科: 2,225学科、英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科: 135学科、
その他の専門教育を主とする学科及び総合学科: 1,655学科

○調査手法

文部科学省Web調査システム上で各調査対象より回答。

○調査実施基準日

特に指定がない場合、令和4年12月1日。

※本調査は、一部変更を行いながら平成25年度より実施している。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止。

※「普通科」「英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科」「その他の専門教育を主とする学科及び総合学科」について、

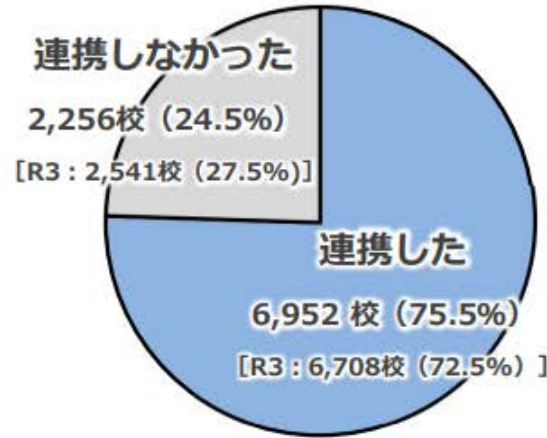
それぞれ複数の学科が設置されている場合は、その学校に設置されている「普通科」「英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科」「その他の専門教育を主とする学科及び総合学科」ごとに1つずつの回答として集計している。

※今後、令和5年度全国学力・学習状況調査等の結果も併せて、英語教育の改善・充実に向けて、さらに分析等を行う予定。

小学校・中学校・高等学校の連携に関する状況

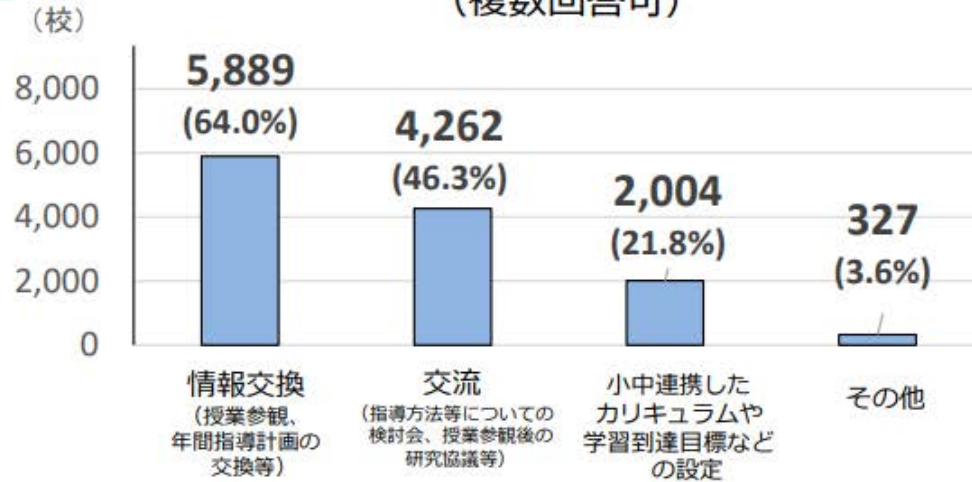
- 小学校との連携に取り組んでいる中学校の割合は75.5%であり、昨年度より3ポイント上昇した。
- 小学校・中学校との連携形態については、情報交換（授業参観、年間指導計画の交換等）が最も多い。

小学校との連携に取り組んでいる中学校



※全体数は、調査対象の中学校9,208校。

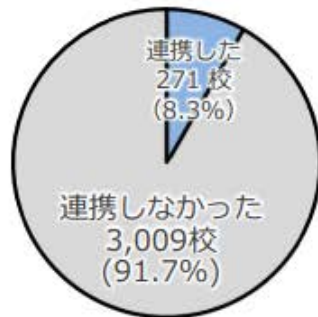
【中学校と小学校との連携の形態】 (複数回答可)



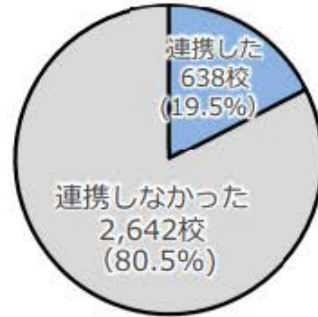
※全学校数を分母として割合を計算。

小・中学校との連携に取り組んでいる高等学校

【小学校との連携】

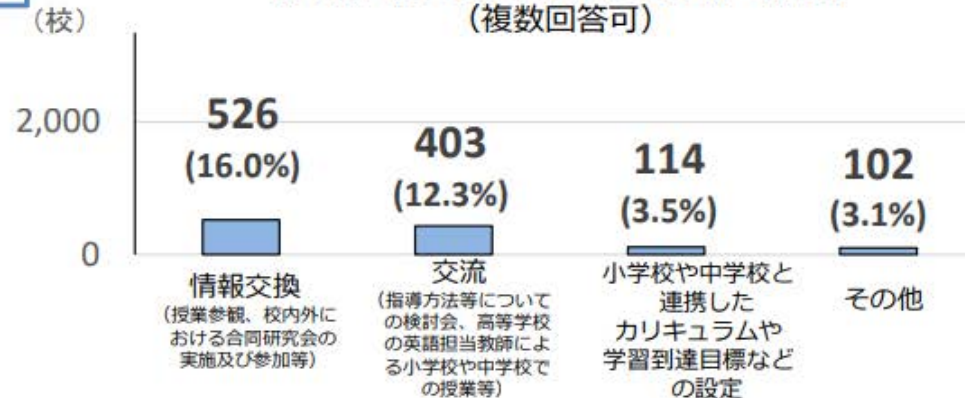


【中学校との連携】



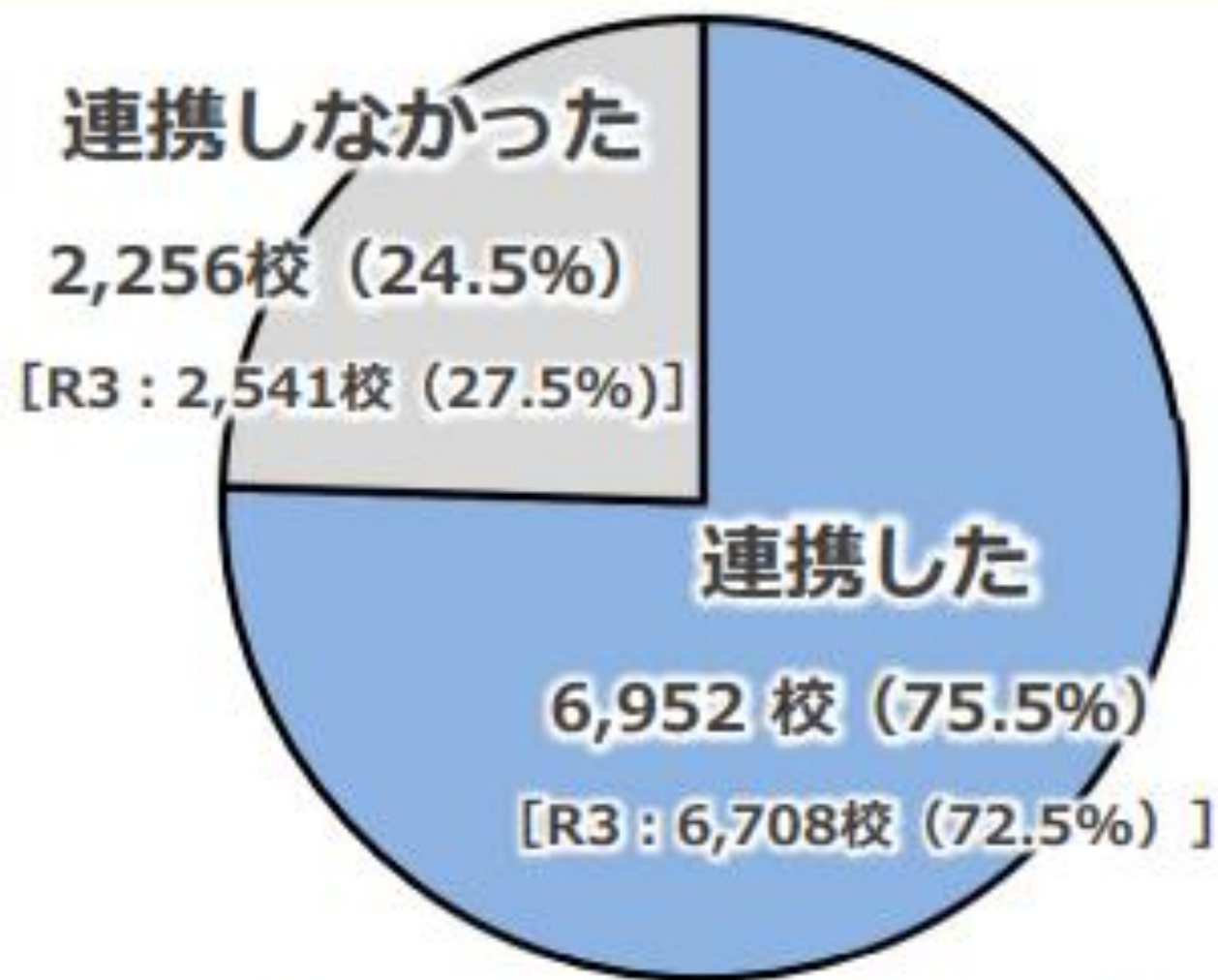
※全体数は、調査対象の高等学校3,280校。

【高等学校と小・中学校との連携の形態】 (複数回答可)



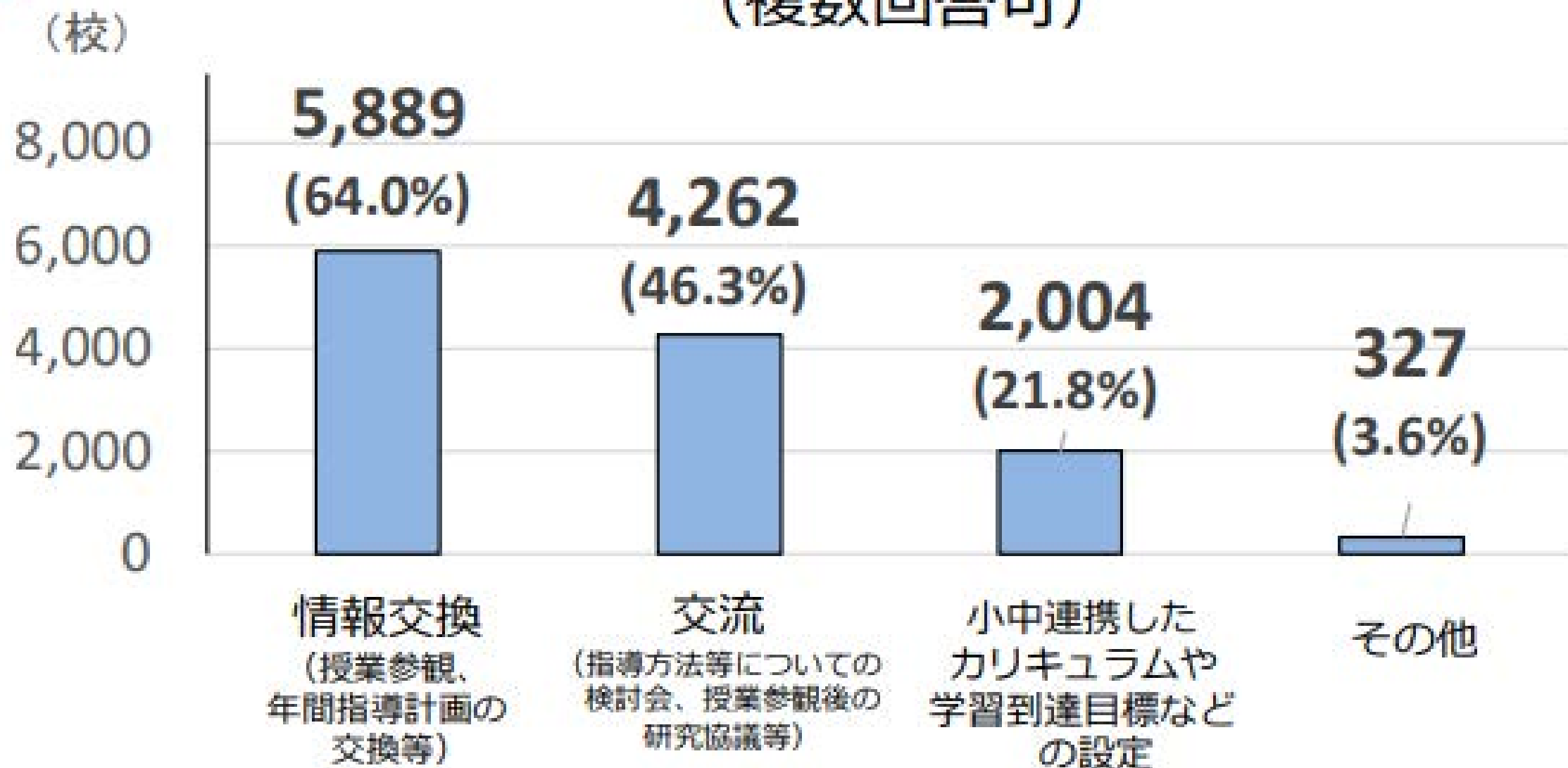
※全学校数を分母として割合を計算。

小学校との連携に取り組んでいる中学校



※全体数は、調査対象の中学校9,208校。

【中学校と小学校との連携の形態】 (複数回答可)



※全学校数を分母として割合を計算。

小・中連携した活動事例(中学校1年生における小学校との連携の在り方について)

「外国語教育強化地域拠点事業」～山口県光市立室積小学校・室積中学校～

地域の特色・課題

校種間のつながり(「人」・「もの」・「方法」の3つの連携)を活かした外国語教育の推進

めざす
子どもの姿

室積中学校

- ・まちがいをおそれず、自分の意見や考えを積極的に表現できる生徒
- ・英語を用いて、地域や社会と積極的に関わることができる生徒

室積小学校

- ・まちがいをおそれず、英語で思いを伝え合うことで、英語を使う喜びを味わうことができる児童
- ・英語を用いて、自分のことや友達のことを表現できる児童



「人」の連携

【教職員のつながり】

- ・毎月1回の英語教育ベース会議
- ・校種間による乗り入れ授業
- ・小中合同研修会の実施
- ・気軽な授業参観 など



【児童生徒のパフォーマンス動画を視聴しながら研修の研修をする小・中学校員】

取組事例①

【児童・生徒のつながり】

- ・動画による間接交流
- ・小中合同授業の実施



【中学生のパフォーマンスを視聴する小学生】



【お店役とお客役に小中分かれて活動する】

「もの」の連携

小中で共通の
Classroom English

【教材のつながり】

- ・クラスルームイングリッシュ(児童・生徒用)
- ・CAN-DOリスト
- ・評価シート
- ・ワークシート
- ・動画コンテンツ など



取組事例②

取組事例③

「方法」の連携

【授業方法のつながり】

- ・授業スタンダード4Stepsの活用(授業の組立)
- ・授業や単元の展開方法
- ・ICTの活用方法
- ・評価方法 など

成果

・それぞれの学校で目指す子どもの姿(どんな力をつけたいのか)を共有したり、授業づくりで大切にしていること等の確認ができています。

・小・中学校ともに、授業改善に活かされている。

・学習意欲の向上とスムーズな接続につながっている。



★授業スタンダードの活用

授業4Steps

- 1 Warm Up
- 2 Practice/Today's Goal
 - ・表現への慣れ
 - ・動くCAN-DOリストの視聴
- 3 Activity
 - ・クラスルームイングリッシュの活用
 - ・リアクションを含めた自然なコミュニケーション
 - ・タブレット端末の活用
- 4 Look Back

★授業や単元の展開方法【小中共通の取組→小学校からの中学校への積み上げ】

①GOALイメージをもたせた授業展開

- ・動画によるモデルの視聴

②子どもの興味関心を大切に授業や単元の展開

- ・地域の素材をいかした単元計画
- ・小中連携をいかした単元計画

③場の設定の工夫

- ・必然性やリアリティのある場づくり

④表現力を高めるアクティビティの実践

- (例) 1 minute talk
インタビュービンゴ etc
- 表現の定着
 - ・語彙や表現の引き出しの増加
 - ・表現の高度化と正確性

⑤振り返りカードの活用

- ・良さの共有
- ・教員やALTへの質問(知りたい表現)

今後の課題

・中学校においては、英語でのやりとりの流暢さだけでなく、英語教員の専門性をいかして、英語表現のより細かいところまでの正確さの指導が求められる。

・文字指導については、小学校からのスムーズなつながりを意識しながら、抵抗感なく取り組める指導方法を研究していくことが必要である。

地域の特色・課題

校種間のつながり(「人」・「もの」・「方法」の3つの連携)を活かした外国語教育の推進

「人」の連携

【教職員のつながり】

- ・毎月1回の英語教育ベース会議
- ・校種間による乗り入れ授業
- ・小中合同研修会の実施
- ・気軽な授業参観 など



【児童生徒のパフォーマンス動画を視聴しながら評価の研修をする小・中学校員】

【児童・生徒のつながり】

- ・動画による間接交流
- ・小中合同授業の実施



【中学生のパフォーマンスを視聴する小学生】



【お店役とお客役に分かれて活動する小中学生】

「もの」の連携

【教材のつながり】

- ・クラスルームイングリッシュ (児童・生徒用)
- ・CAN-DOリスト
- ・評価シート
- ・ワークシート
- ・動画コンテンツ など



小中で共通の Classroom English



取組事例②

「方法」の連携

【授業方法のつながり】

- ・授業スタンダード4Stepsの活用 (授業の組立)
- ・授業や単元の展開方法
- ・ICTの活用方法
- ・評価方法 など

取組事例③

取組事例①



★授業スタンダードの活用

授業4Steps

- 1 Warm Up
- 2 Practice / Today's Goal
 - ・表現への慣れ
 - ・動くCANDOリストの視聴
- 3 Activity
 - ・クラスルームイングリッシュの活用
 - ・リアクションを含めた自然なコミュニケーション
 - ・タブレット端末の活用
- 4 Look Back

★授業や単元の展開方法【小中共通の取組→小学校からの中学校への積み上げ】

①GOALイメージをもたせた授業展開

- ・動画によるモデルの視聴

②子どもの興味関心を大切にしながら授業や単元の展開

- ・地域の素材をいかした単元計画
- ・小中連携をいかした単元計画

③場の設定の工夫

- ・必然性やリアリティのある場づくり

④表現力を高めるアクティビティの実践

(例) 1 minute talk
インタビュービンゴ etc

-
- ・表現の定着
 - ・語彙や表現の引き出しの増加
 - ・表現の高度化と正確性

⑤振り返りカードの活用

- ・良さの共有
- ・教員やALTへの質問（知りたい表現）

以下、参考までに

- 学習指導要領解説から



「外国語活動・外国語の目標」の学校段階別一覧表

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方

外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること

外国語科の目標

	小学校第3学年及び第4学年 外国語活動	小学校第5学年及び第6学年 外国語	中学校 外国語	高等学校 外国語
	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

外国語科の目標

小学校第3学年及び第4学年 外国語活動

- 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ，外国語による聞くこと，話すことの言語活動を通して，コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

小学校第5学年及び第6学年 外国語

- 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ，外国語による聞くこと，読むこと，話すこと，書くことの言語活動を通して，コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

外国語科の目標

中学校 外国語

- 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

高等学校 外国語

- 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

(知識及び技能)	(1) 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。	(1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付くこと、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
(思考力、判断力、表現力等)	(2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。	(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。	(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
(学びに向かう力、人間性等)	(3) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

思考力・判断力・表現力等

小学校第3学年及び第4学年 外国語活動

- 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。

小学校第5学年及び第6学年 外国語

- コミュニケーションを行う**目的や場面、状況**などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら**読んだり**、語順を意識しながら**書いたり**して、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。

思考力・判断力・表現力等

中学校 外国語

- コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり，これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

高等学校 外国語

- コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

高等学校学習指導要領解説 付録

○他に

「5つの領域別の目標」

の学校段階別一覧表がありますので参考に
してください。

「外国語活動・外国語の言語活動の例」の学校段階別一覧表

	小学校第3学年及び第4学年 外国語活動	小学校第5学年及び第6学年 外国語	中学校 外国語	高等学校 英語コミュニケーションⅠ
聞くこと	(ア) 身近で簡単な事柄に関する短い話を聞いておおよその内容が分かたりする活動。	(ア) 自分のことや学校生活など、身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動。	(ア) 日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。	(ア) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。
	(イ) 身近な人や身の回りの物に関する簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動。	(イ) 日付や時刻、値段などを表す表現など、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取る活動。	(イ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。	(イ) 社会的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。
	(ウ) 文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体で書かれた文字と結び付ける活動。	(ウ) 友達や家族、学校生活など、身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現で話される短い会話や説明を、イラストや写真などを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動。	(ウ) 友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し、適切に応答する活動。	
			(エ) 友達や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動。	

話すこと 【やり取り】	(ア) 知り合いと簡単な挨拶を交わしたり、感謝や簡単な指示、依頼をして、それらに応じたりする活動。	(ア) 初対面の人や知り合いと挨拶を交わしたり、相手に指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりする活動。	(ア) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。	(ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。
	(イ) 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、好みや要求などの自分の気持ちや考えなどを伝え合う活動。	(イ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動。	(イ) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。	(イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。
	(ウ) 自分や相手の好み及び欲しい物などについて、簡単な質問をしたり質問に答えたりする活動。	(ウ) 自分に関する簡単な質問に対してその場で答えたり、相手に関する簡単な質問をその場でしたりして、短い会話をする活動。	(ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりする活動。	

話すこと(やり取り)

小学校第3学年及び第4学年

外国語活動

知り合いと簡単な挨拶を
交わしたり，感謝や簡単
な指示，依頼をして，そ
れらに応じたりする活動。

小学校第5学年及び第6学年

外国語

初対面の人や知り合いと
挨拶を交わしたり，相手
に 指示や依頼をして，
それらに応じたり**断った**
りする活動。

中学校

外国語

関心のある事柄について，
相手からの質問に対し，
その場で適切に応答した
り，関連する質問をした
りして，互いに会話を継
続する活動。

話すこと(発表)

小学校第3学年及び第4学年

外国語活動

自分の好き嫌いや、欲しい物などについて、人前で実物やイラスト、写真などを見せながら話す活動。

小学校第5学年及び第6学年

外国語

簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めた自己紹介をする活動。

中学校

外国語

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。

小中接続の具体例

- 授業参観
- 年間指導計画の交換等
- 指導方法等についての検討会
- 授業参観後の研究協議
- 小中連携したカリキュラムの作成

+αとして（提案）

- ・中学校の教員が、小学校で出前授業をする。
- ・小中学校の教員が、お互いの学校でチーム・ティーチングをする。
- ・小中学校の教員が、合同で学習指導案を作成する。
- ・小中学校の教員が、合同でワークショップを行う。

小学校5, 6年の英語教科書発行者

東京書籍株式会社

New Horizon Elementary

開隆堂出版株式会社

Junior Sunshine

学校図書株式会社

Junior Total English

株式会社三省堂

Crown Jr.

教育出版株式会社

One World Smiles

光村図書出版株式会社

Here We Go!

株式会社新興出版社啓林館

Blue Sky Elementary



週2時間の授業